

第3回県立中部病院将来構想検討委員会

1 日 時 令和6年1月15日(月) 10:00-12:00

2 場 所 県庁6階 第1特別会議室

3 議事次第

- (1) 現地建替と市町村提示用地建替について
- (2) 「県立中部病院将来構想」素案の概要について

4 議 事

(1) 現地建替と市町村提示用地建替について

① これまでの検討状況の振り返り

◆新病棟(本館等を含む)の対応検討フロー

○役割・医療機能

- ・基本的に、県立中部病院が現在担っている役割・医療機能を継続

○新病棟(本館等含む)の現地展開の実現可能性

- ・役割・医療機能を含めて検討
- ・1床あたり面積は近年整備の同規模・同機能の公立病院と同等
- ・延床面積は上記1床あたり面積×許可病床数、研修医諸室、ハワイ大学沖縄事務所、感染対策(近年整備予定の公立病院を参考)に要する面積を加え、現施設と比較し規模拡大が可能。
- ・上記よりさらに拡張可能であり現地建替でも将来の医療需要の増加へ十分対応が可能
- ・駐車場台数についても現施設より大幅に増加

◆建替完成までの期間

- ・現地建替の場合、用地に係る選定作業、取得手続き、住民合意形成、造成工事等がないため、移転建替より早期に南病棟への対応が可能など説明を行った。

② 市町村提示用地に関する報告

市町村が提示した用地による建替の整備期間・費用、インフラ整備状況、海拔、交通アクセス、考慮を必要とする施設などの報告を行った。

以下のような意見があった。また、関係市町村から意見聴取を行った。

- ・新築移転となると住民への説明、交通アクセスのリスク等が考えられるため、現地建替で検討すべきである。
- ・南病棟の耐震化も大切だが、医療機能を落とさないことも大切である。現地建替

を行うと工事期間中医療機能を一時的に落とす可能性がある。救急や急性期入院患者の需要が増えていく中でそれはあってはならない。

- ・南病棟の耐震化を最優先で考えるべきであり、取り得る手段の中で一番早いのが現地建替だと理解している。
- ・中部病院は急性期患者、高度医療に特化し、コンパクトにまとめれば今の敷地でも十分に機能を果たせるのではないかと。
- ・高齢化、人口減少の中で都市はコンパクトシティ&ネットワークが重要なキーワードになっている。高速から近いのもそうだが、今後は公共交通が重要になってくる。新たに場所を選定する場合は公共交通も考えてほしい。
- ・まちづくりを考えた場合は、移転がよいのではないかと。
- ・南病棟の対応を最優先で考えるべきであり、提示の資料では現地建替が一番早い。人の命を考えて、どう選択するか考えていただきたい。
- ・急性期特化型病院において、高層階による人員配置の非効率化など、病院運用が難しいのではないかと。
- ・高層化することで非効率な人員配置になる事例は見たことが無い。
- ・石川県能登半島地震の件もあり、沖縄県でもいつ地震が起きるかわからないため、南病棟の対応をしっかりと行ってほしい。
- ・敷地の狭い現地での建替は医療機能に影響を与える恐れがあり、うるま市内での新築移転により機能強化してほしい。市としては、2カ所ほど移転用地として提供を検討できる状況であり、できる限り移転に協力したいと考えている。
- ・建替にあたりヘリポートを設置してほしい。

(2) 「県立中部病院将来構想」素案の概要について

○将来構想

将来構想については、6つの章立てと参考資料で構成を考えており、第4章については沖縄県医療計画記載の疾病対策及び医療施策ごとの方針で取りまとめていくことを説明した。

○県立中部病院が担うべき医療の方向性

これまでの部会で検討した基本調査や領域別の医療機能を前提としたうえで、県立中部病院が将来どのような役割を果たすべきか、「医療機能」「医療従事者確保・育成」「地域連携」「持続可能な病院運営」の観点からを説明した。

また、以下の意見があった。

- ・医療機能は維持しつつも、医療需要を考慮しつつコンパクト化を図っていくべきだと考える。
- ・地域の拠点病院として、救急医療及び人材育成等において機能を担っていく必要

があるため、医療機能を落とすことは考えられない。ただ一方で、そうなるに対応すべき医療が幅広くなってしまうため、地域密着型として病棟及び資源の分配を検討していく必要がある。

- ・現在、沖縄県では看護師が不足しているため、人員確保を検討していく必要がある。また、人員確保を行う際には周辺機関への影響も考慮する必要がある。

第3回 県立中部病院将来構想検討委員会出席者

氏名	役職	備考
本竹 秀光	病院事業局 局長	対面形式
諸見里 真	病院事業局 病院事業統括監	対面形式
久貝 忠男	北部病院 院長	対面形式
玉城 和光	中部病院 院長	対面形式
福里 吉充	南部医療センター・ こども医療センター 院長	WEB形式
屋良 一夫 ※飯田 淳史	精和病院 院長 精和病院 副院長	WEB形式 ※代理出席
岸本 信三	宮古病院 院長	WEB形式
和氣 亨	八重山病院 院長	WEB形式
糸数 公	保健医療部 部長	対面形式
金城 新吾	土木建築部 建築都市統括監	対面形式
宮里 達也	沖縄県医師会 副会長	対面形式
大屋 祐輔	琉球大学病院 院長	WEB形式
今井 千春 ※知花 敬	中部地区医師会 副会長 中部地区医師会 事務局局長	対面形式 ※代理出席
平良 孝美	沖縄県看護協会 会長	対面形式
松川 正則	中部市町村会 会長（宜野湾市長）	対面形式
河合 慎介	京都府立大学大学院 教授	WEB形式
中村 正人	うるま市 市長	対面形式 7条関係